

教職員研究グループ活動状況報告書

代表者の所 属・職・氏名	兵庫県立篠山東雲高等学校 教諭 上野 弘和	研究グループ名 (しののめ特産研究チーム)
-----------------	--------------------------	--------------------------

研究テーマ分類番号(17)

(1)研究テーマ
地域特産物を用いた実践的な農業教育 ～地域力の活用と教員の実践力の向上をめざして～
(2)研究経過及び具体的な取組
<p>これまでの本校での教育活動から私は過疎、高齢化の進む中山間地域において、小規模校の存在は地域の活性化につながると感じている。しかし、それは教員の実践力の向上が必須条件である。そこで、本研究では地域の特産物である黒大豆や山の芋を用いた実践的な農業教育をめざすことを目的に以下のような取り組みを行った。</p> <p>7月 研究計画の立案 現場実習(教科内インターンシップ)と課題研究、総合実習の科目間連携のあり方検討 地域素材(特産物)を用いた授業研究</p> <p>8月 大阪府立大学、中央農業総合研究センター等からの技術指導 地域生産者(山の芋)への講習会</p> <p>9月 地域力を活用した実践的な実技講習(現場実習先にて) 大阪府立大学、中央農業総合研究センター等からの技術指導</p> <p>10月 授業研究(科学的な分析や調査方法の検討) 生徒の実践発表(校外イベントへの参加) 高校生私の科学研究発表大会(兵庫県生物学会、神戸大学サイエンスショップ主催) 日本学校農業クラブ連盟大会(全国大会)</p> <p>1月 篠山ロータリークラブ卓話での生徒発表 地域生産者(黒大豆)への講習会</p> <p>2月 授業研究(「課題研究」のまとめと校内発表会) 低炭素杯2013への出場 篠山ロータリークラブとの協賛(地域特産「山の芋」のグリーンカーテンの普及) 研究のまとめ</p> <p>まとめ</p> <p>今回の研究活動を通じて、生徒たちのアイデアを形にする教育活動を行うことができた。また、本研究と平行して行っていた小中高連携事業(山の芋グリーンカーテン)については、著しい発展につながった。地域と連携することで、生徒の学習活動が地域貢献活動へ発展した。</p>